

第360回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 令和元年7月29日（月）午前11時より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 7人 出席委員 7人

出席委員

若杉 隆平	委員長	田村 明子	副委員長
飯塚 智	委員	増満 浩志	委員
野内 隆裕	委員	大久保千春	委員
柳川かおり	委員		

会社側出席者

代表取締役社長	務台 昭彦
取締役放送本部長兼編成局長	稲田 裕之
取締役報道制作局長	寺内 邦彦
報道制作局制作部長	竹野 和治
事務局	安部 貴俊 小野塚由起子
	吉田 康宏

4 議 題

1) 番組合評

「かやぶき屋根の診療所～頼りの先生は91歳～」

[放送：令和元年6月15日(土)10:55-11:25]

(説明：番組プロデューサー 竹野 和治)

2) 会社報告

①6月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

②講じた措置、公表など定例報告等 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要

会社側から「かやぶき屋根の診療所～頼りの先生は91歳～」という番組は、2017年と2018年に1回ずつニュースの特集として放送しました。新潟県内は医師不足が深刻です。

当時89歳の医師が小千谷市で頑張っていて2017年に一度特集を組み、その後の地域のお住民に愛されている素晴らしい人格者で2018年再度特集を組みました。この医師の姿を追うことで、医師の生きざま、生き方を紹介しつつ、それを通じて過疎化、少子高齢化が進む中での地域医療の現状も紹介することができると思え30分の番組を放送しました、という説明があった。

(委員の意見)

- 人口10万人当たりでの医師の数では新潟県は全国でも下から2番目の医師不足の県です。県土が広く地域格差がある県です。そんな状況の中今回の番組の藤巻先生のような地域の人と一緒に年を重ねながら医療を支えてくれる人もいるとホッとした。

- 生涯現役で高齢になっても信念をもって活動している姿勢が素晴らしい。
- 定期的に受診すること自体が目標になっている方も多く、昔から知っている先生、年代の近い先生の方が相談をしやすいんだと、改めてかかりつけ医は必要と思った。
- 地域医療、高齢化などがどれくらいの状況なのか、地域自体の現状を明確にした方がよかった。
- 息子さんの力が大きいと思ったので、息子さんのお話をもう少し聞きたかった。
- 日々の診療はよいが、切羽詰まったときにどうすればよいか気になった。ホッとしつつも色々考える番組だった。
- 番組を見る前は「かやぶき屋根」を修理する人かと思った。
- かやぶき屋根と人物とを上手に対比させて紹介していた。
- 医師が空襲や地震などの自らの体験を話している姿が次の世代に残していると感じた。
- 未来への取り組みが見えるともっとスッキリした。
- 単なる治療だけでなく、福祉に近い事も行ってると思った。
- 地域医療と都会の医療と違うが、新潟にとどまらず放送してほしい。
- 10年経つと貴重な映像資料になるのではないか。
- 最初は医師不足、地域医療の問題などを放送すると思ったが、医師の日常、生き方、働き方など何気ないものに焦点を当てた良質な記録映像になっており、完成度が高かった。
- 息子、次世代につながる追加取材が欲しい。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

6月 …… 106件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(令和元年6月24日)から、昨日(令和元年7月28日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回第359回審議会では、「セッキン 新潟5days」を審議いただき、委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第360回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・第359回番組審議会議事録
- ・6月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・BPO冊子(N0202、203)
- ・民間放送新聞(7/13号)

以上